

家庭数

令和5年2月22日

保護者様

横浜市立西富岡小学校
校長 黒田 由希子

「学校教育についての振り返りシート」の集約について

向春の候、皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校の教育活動にご理解ご協力をいただきましてありがとうございます。

西富岡小学校では、学校教育目標「自進力！西富～実感・共感・主体性～」の実現に向け、中期学校経営方針の重点取組分野である「生きてはたらく知」「豊かな心」「健やかな体」「地域連携」等の観点で、様々な教育活動に取り組んでいます。

さて、先日ご協力いただきました振り返りシートの結果を集約いたしましたので、お知らせいたします。

今回の振り返りシートの結果を今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。今後とも、共に西富岡小学校の教育を創っていくという視点で、ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

1 知 授業改善に関して

保護者の方のご意見（記述欄からの抜粋）

▲は課題として捉えているご意見です。

○子供達のやりたい！を大事に授業でやれる事、やりたい事をできる限りさせてもらえた一年だったようです。
○先生を信頼し、安心して学べる環境作りをしていただいているおかげで、のびのびと、勉強に集中することが出来ています。

○2年生は「九九チャレンジ」というのをやっているらしく、校長先生チャレンジをするのを楽しみに頑張っていました。校長先生自ら、生徒たちと関わりを持ち、校長室に生徒が気軽に行くことのできる環境が素晴らしいと思いました。

○生活科では、わくわくするようなしなかけがたくさんあるようで、家でもうれしそうに活動の様子を話しています。ロイロもたくさん活用していて、一年生なのにこんなにできるんだなといつも感じています。

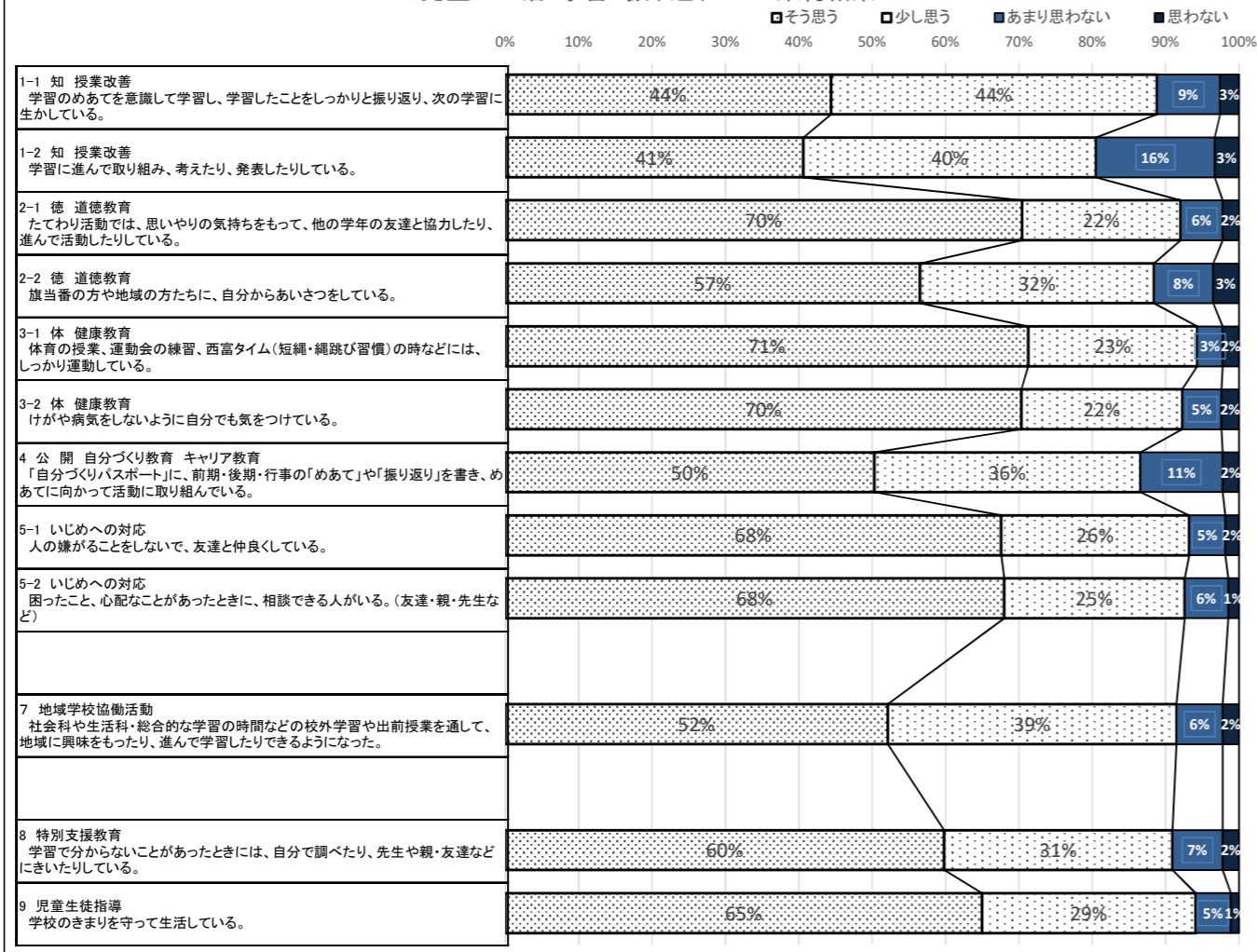
○読書ビンゴやしおりを目標に本をたくさん借りる、図書室に足を運ぶようになりました。良い活動だと思います。
▲たまに、息子にどんな学習をしているのか尋ねると、単元によっては曖昧な返答で、自分が何を学んでいるのか、学ぼうとしているのか、という意識が薄いと感じることがありました。

▲ただ単にタブレットを使えばよいというのではなく、タブレットでなければできないもの、タブレットであるために理解が深まるもの、などの学習で道具としてタブレットを使えると尚良いのかなという感じがしています。

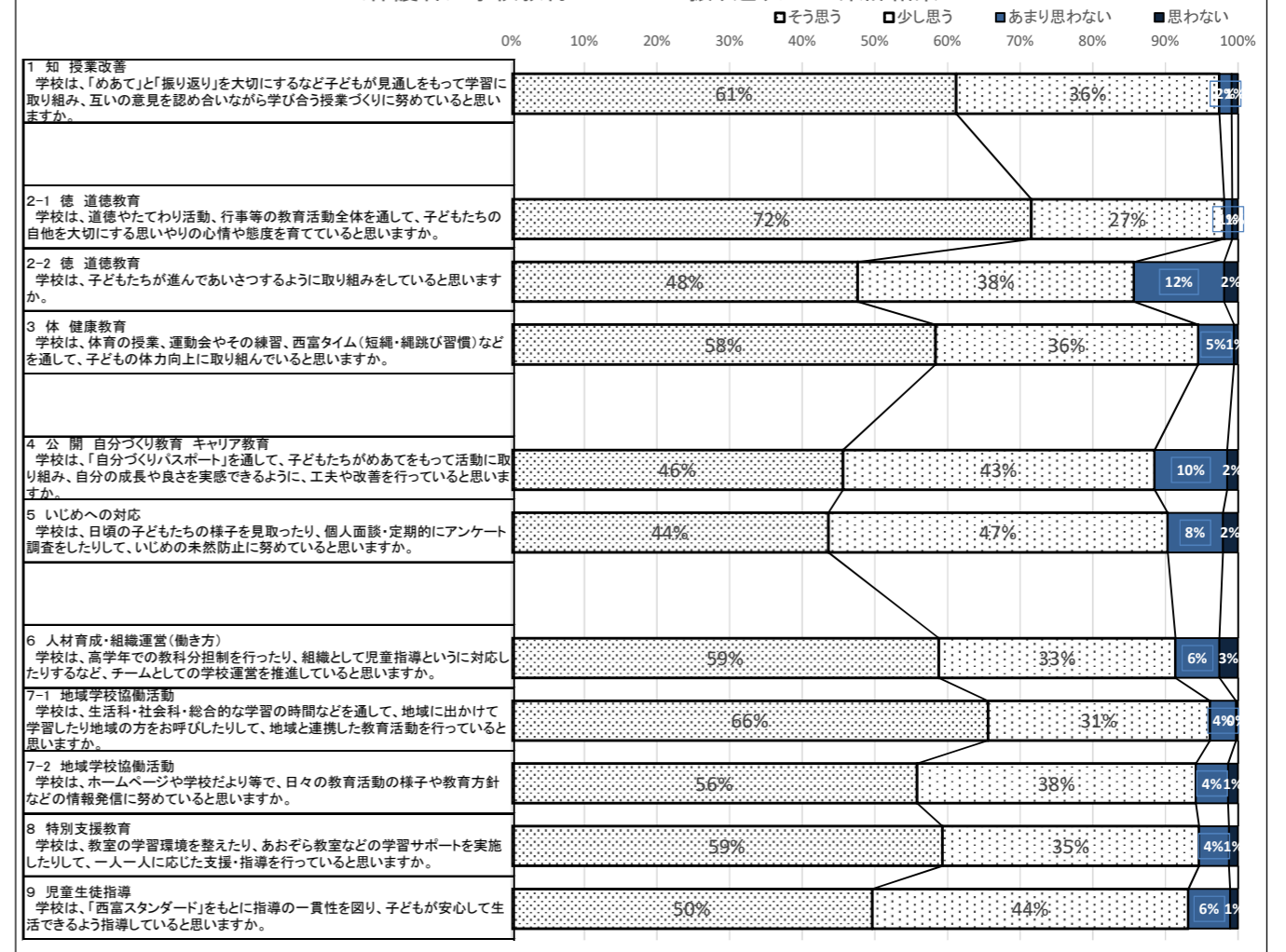
【考察】

どの授業でも学校教育目標である「自進力」を意識した展開を心掛けています。勉強を教わるという姿勢ではなく、自らが問題を発見し解決していこうとする問題解決学習を目指しています。児童の振り返りシートを見ると、まだ自分から進んで学習に取り組んでいるという意識が低いことが分かります。児童が受け身にならず、主体的に学習に取り組めるよう、今後も授業改善に取り組んでいきたいと思えます。一つ一つの活動では、効果を上げているものも多くあります。それが日常として広がっていけるよう努力してまいります。また、タブレット端末を活用した授業も2年目を迎え、児童も教員もタブレット自体には慣れてきました。保護者の方のご指摘もあるように、効果的な使用を模索する必要性を感じています。情報モラルや学校で扱う場合のルールについても検証していきたいと思えます。

＜児童＞生活・学習 振り返りシート集約結果



＜保護者＞学校教育についての振り返りシート集計結果



2 徳 道徳教育に関して

保護者の方のご意見（記述欄からの抜粋） ▲は課題として捉えているご意見です。
○足柄宿泊、運動会、球技大会と、今年度は行事を通して子供達も成長できたと思います。
○昨年度、旗振りの際に児童の挨拶がほとんどなかったのに対し、今年度は子供達から多くの挨拶が返ってくるのでとても嬉しいです。
○毎朝 校門で先生の挨拶は、将来子供が大人になったときに良い思い出(感謝)になっていると思います。
○見守り当番時や校内で児童に会った時、以前に比べ挨拶をしてくれる児童が増えていることを実感しています。先生方のご指導のおかげと思います。
▲こちらから挨拶しないとしてくれないことがほとんどなので自分から挨拶が出来るようになると更に素晴らしいと思います。

▲旗当番をして思うのですが、こちらが挨拶しても無視する児童がほとんどなのは残念だと思います。これは学校だけではなく家庭の問題もあると思うので私も見直したいと思います。
【考察】
本校の特色であるたてわり活動をはじめ、コロナ対策が落ち着き多くの行事を行うことができ、子どもたち同士の学年を超えた交流を多くもつことができました。相手を思いやる心は、多くの交流の中で育まれるものです。来年度以降も交流の場を多くもてるようにしていきたいと思います。

あいさつについては、昨年度の「学校教育の振り返りシート」で一番厳しい意見をいただいていた。今年度は、以前に比べあいさつをするようになってきたとの評価が多く寄せられています。運営員会児童のあいさつ運動や、各学年の取組を通して、子どもたちの意識が少しずつ変わってきたのだと思います。ただ、まだまだ受け身であり自分から進んでできている子が少ないのも事実だと思います。学校と家庭とで協力し、あいさつへの取り組みを広げていきたいと思っています。

3 体 健康教育

保護者の方のご意見（記述欄からの抜粋） ▲は課題として捉えているご意見です。
○寒い冬の体育で長袖長ズボンを着れる様にいただき、ありがとうございました。根性では防げない風邪などの心配が無くなり安心しております。
○運動会の際には、入口が一つとなり先生方やPTAの方の整備の負担がなく、出入りもムーズで良かったと思いました。
○児童の出席状況や健康面についても、真剣にお話を聞いてもらえて安心しております。
▲昔は、毎日、マラソンがあったの嫌だったが、今思えばいい思い出です。転校前の学校は、年に1回持久走大会もありました。それに向けて1ヶ月前前から休憩時間、校庭を何周走れるかやってみました。

【考察】
50周年行事での卒業生の方へのアンケートによると、30年程前の西富岡小学校では、毎日持久走に取り組んでいたようです。苦手な児童にとっては苦痛もあったようですが、体力の向上には役に立っていたとお話が多く寄せられています。時代も流れ、当時と同じことを今することは難しい面がありますが、工夫を重ねていきたいと思えます。今年度より、体力向上一校一実践の取り組みとして「縄跳び習慣」を行っています。隔週金曜日の中休みに短縄に取り組んでいます。全員参加なので普段外遊びをしない児童も取り組んでいます。運動・健康への前向きな気持ちを育てていきたいと考えています。

5 いじめへの対応に関して

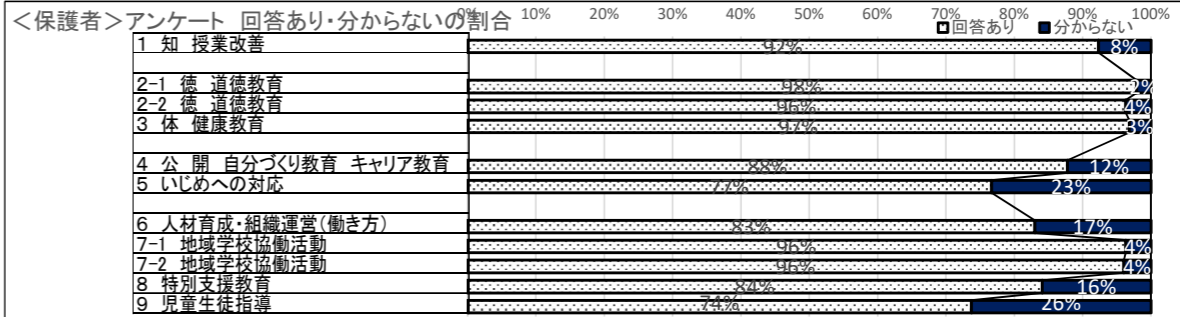
保護者の方のご意見（記述欄からの抜粋） ▲は課題として捉えているご意見です。
○子どもの些細な行動を見逃さず、大変褒めて認めていただきました。本人の自信につながったと思います。きめ細やかな配慮と指導をいつもありがとうございます。
○いじめのアンケート等については子どもから話をきいたことはないのですが、何か気になることがあった時に先生に相談しやすい環境を作ってくださいているのはとてもありがたいと感じています。すぐに対応して下さることも子どもたちや保護者の安心につながっています。
▲アンケートは保護者向けにも行ってはいかがでしょうか。子供が家でつぶやく話しの中に、ヒントが隠れている可能性があるように感じます。
▲いじめについてのアンケート調査の回数を増やして(少なくとも月に1度、週1でもなお良い)、もっと小さい芽のうちにつみとり、生徒の心の声に気付いてあげてもらいたいです。本人の訴えはもちろんですが、「あなたのまわりにいじめをうけている人はいますか?」の問いを重要視してもらいたいです。

【考察】
12月までに2回、全児童へのアンケートを行い、困っていることがないかを把握し解決に向けて対応をしています。一つでも困りごとがあると答えた児童には、個人的に話を聞き対応をしています。児童間のみでの話で済むと判断した場合には、保護者の方にご連絡をしないこともあります。ケースによっては連絡させていただいています。アンケートによって普段把握しきれない子どもの声を捉えることができている。いじめの未然防止に大きく貢献していると思っています。令和5年度からは、これまでのアンケートに加え、5月に記名式の児童アンケートと教育相談を行います。子どもたちの心の変化に寄り添っていきます。

7 地域学校協働活動に関して

保護者の方のご意見（記述欄からの抜粋） ▲は課題として捉えているご意見です。
○社会の学習等で、地域の方にお話を聞くことができるなど、大変貴重な体験をさせていただいていると思います。ありがとうございます。
○昨年要望を挙げたところ、HPで学校の様子の写真を発信して下さるようになり、感謝しています。HPを見て、学校での様子もイメージできるようになり、また学校生活に関する子どもとの話題が多く生まれるようになりました。先生方にはお手数をおかけしていると思いますが、是非今後も学校の様子を時折写真を交えて情報発信していただけると嬉しいです。引き継ぎご指導よろしく願いいたします。
▲アンケートの質問項目については、具体的な学校や先生の取り組みが保護者の目に見えにくく、「分からない」の回答が増えましたが、こういったことを意識して運営して頂けていることを期待しています。

【考察】
今年度は、コロナ前のように校外学習や出前授業を行うことができました。本物に触れることで、子どもたちの学習に対する意欲が違ってきます。来年度以降も、続けていきたいと思えます。
昨年度の「学校教育の振り返りシート」の中で、学校の様子が分かりづらいというお声をいただいております。昨年度は、授業参観や懇談会の回数を減らさざるを得ませんでした。今年度は人数制限の中ではありますが、通常の回数を行うことができました。また、学校からの情報発信を増やしたほうが良いというご意見を受け、学校ホームページをリニューアルいたしました。多くの方にご好評をいただいておりますので、今後も続けていきたいと思えます。
下のグラフを見ると、「5いじめへの対応」や「9児童生徒指導」について、学校での取り組みが分かりづらい状況にあるということが見て取れます。項目によっては、伝わりづらいものがあるということ意識して、今後の情報発信の仕方について検討してまいります。



その他

保護者の方のご意見（記述欄からの抜粋） ▲は課題として捉えているご意見です。
○色々な状況の変化がある中、その都度迅速かつ丁寧に対応していただきありがとうございました。
○前例主義にとらわれず、時代にあわせて見直しをされている様子がうかがえ、努力されている印象があります。いつもありがとうございます。
○クラブ活動の時間について-時間割の時間を以前より変更いただき、高学年になっても放課後を有意義に使えるようになり有難いです。
○今年度初めてあおぞらルームに参加しましたが、申し込んでよかったと思える活動内容でした。先生方には「児童の特性」を理解いただきながら接して下さり感謝しております。
▲あゆみの先生からのコメント欄がなくなり、残念です。子ども達が成績、評価を振り返り、今後への励みにしているので、面談での話だけではなく、コメント欄を復活して欲しいです。
▲アンケートを無記名式にしてほしい。
▲個人面談などで保護者が学校に行く際の自転車での登校は再開して頂きたいです。

【考察】
昨年度の「学校教育の振り返りシート」を受け改善したことを評価して下さる声が多くありました。ありがとうございます。今年度も、皆様の意見も参考にし、来年度のより良い学校運営に生かしていきたいと思えます。
あゆみの所見欄については、面談の時期等も含め総合的に考え変更いたしました。前期の所見はありませんが、学年末の所見はありますのでご安心ください。以前は、前期の成績、後期の成績をお示ししていましたが、昨年度より前期末は途中経過の成績、学年末には学年全体の成績をお伝えするということにしております。です。前期末には保護者の方と面談をし、どこをさらに頑張ればよいのかについてにお話をさせていただいています。学年末には、その学年の学習の「記録」として成績表をお渡しすることとしています。その学年で身に付けるべき資質能力は何なのかを意識し、今後も指導に生かすための評価をしていきたいと思えます。
「学校教育の振り返りシート」を記名式にしているのは、アンケートという位置づけではなく、学校教育の振り返りとして共に西富岡小学校の教育を創っていくという視点に立っていると考えているからです。また、出てきた課題に対して一緒に考えていくことができるからです。
行事時の自転車での来校はご遠慮いただいています。下校時の児童に自転車がぶつかったり、自転車がボールがぶつかったりするなどのトラブルになることがありました。大勢の方が集まる時には、子どもの安全に配慮した対応を取ってきたいと思えます。